

峠の平古墳群(比企郡嵐山町)

ここは笛吹峠/この道が鎌倉街道で、足利軍と新田軍との最終決戦地とされる



石碑が立っている



「史蹟 笛吹峠 埼玉縣」とある



ふえ 小き とうげ
・ 笛吹峠

笛吹峠は、嵐山町と鳩山村の境にある峠である。峠を起点として坂東十番の岩殿観音から同九番の慈光寺観音へ続く東西の道は、巡礼街道と呼ばれ、この峠を南北に貫く道が旧鎌倉街道で、かつて、数多くの武士団等が行き来した所であった。

正平七年(一三五二年)閏二月、新田義貞の三男、義宗等が宗良親王を奉じて、武蔵野の小手指が原で足利尊氏と戦ったが、最終的に結末がなかったのがこの峠の地であった。新田義宗等は越後に落ちて行き、足利尊氏はこれ以後関東を完全に制圧していった。

「笛吹峠」の名称については、この敗退の陣營で、折からの月明りに宗良親王が笛を吹かされたことから命名されたという伝承がある。なお、この付近は、遠く奈良時代に窯業の中心として栄え、武蔵国分寺瓦の大部分がこの付近で焼かれ、その古窯跡が虫草山をはじめ、め須江、大橋、泉井などの山間部に多くみられる。

笛吹峠からは、はるか北方に上州の山々、西方に秩父連山、南方に広い関東平野が遠望され、風光明媚な歴史の地である。

埼玉県

さて、振り返ると正面に高まりがある



これが峠の平1号墳/円墳/南東側から見たところ



これは南西側から見たところ



これは北西側から見たところ



これは北側から見たところ



これは北東側から見たところ



さて、そこから右手を見ると正面にも少し大きい高まりがある/南東側から見たところ



これは北東側から見たところ



近づいて見たところ/これが峠の平2号墳/円墳



これは北側から見たところ



これは西側から見たところ



これは峠の平2号墳の墳頂に登って1号墳方向を見たところ



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/ranzan_touge/

